

袋の中身は何かな？

袋の中にあるものを触るだけで、それが何か当てることができるかな？

手の感覚を頼りに、自然の中で探し物をしよう。



準備するもの

- ・袋の口が紐で閉まるようになっている巾着タイプの不透明の袋
(可能ならばそれぞれ違う色や模様がついていると使いやすい。)

ねらい

- ・目（視覚）で見ないで手でさわった感覚（触覚）を通じて自然と触れ合う。
- ・手で感じたことを言葉にして相手に伝える。

ながれ

1. 一人一つずつ袋を持って、その場所にある自然のものを一つ、袋の中に入れる。この時、自分の袋がどれかわかるようにしておくが良い。
2. 袋に物が入ったら、それぞれ違う袋と交換し、袋の中を見ないように手を入れて、手で触った感覚を頼りに、袋の中にあったものと同じ物を探してくる。
3. 戻ってきたら、袋の中のものを出さずに、見つけたものを見せて、どんな感覚がしたからそれにしたのかなど、その物の触ったときの特徴について説明してもらう。そのあと袋から入っている物を出して答え合わせをする。最初にその袋に物を入れた人からコメントをもらう。
また、それを見つけた場所に行き、その場所の特徴やなぜそれを選んだのかも説明してもらう。

ポイント

見ないで触るドキドキ感や自分の見つけたものが他の人に見つけてもらえるのかのハラハラ感が活動を盛り上げる。また、触った感覚を表現すること、なぜそれを袋に入れたかを説明することなど、自分の感覚を言葉にすることを大切にする。ヒントが必要な場合は「はじっこはどうなっているかな」「表面を触ったらどんな感じ？」（つるつる、ふわふわ、かちこち等）など、ポイントになる部分に感覚を向けられるように促すと良い。

発展

複数の袋を用意して、見た目は似ているけど触ると感覚が違うもの（例えば針葉樹の枝葉など）を入れたクイズにすると、普段は何気なく同じものと捉えている物の違いに目を向けるプログラムになる。
また「嗅覚」をテーマに同様のプログラムを行うこともできる。その場合は、あらかじめ植物を原型がわからない程度につぶしておいた物の匂いを嗅いでもらい、同じ香りのするものを探してくる。